水稲技術情報 ＮＯ－13

令和４年７月２９日
ＪＡ営農支援課

あきたこまち出穂期『８月２日』頃

１．水稲の生育状況（７月２８日現在）

あきたこまちの生育様相は、平年比で草丈111%、茎数100%、葉色値108%でありますが、12葉目の葉身が長いこととで草丈が長めとなっております。葉耳間長から見た村内平均の出穂期予想は、２日程度早まり『８月２日』頃となる見込みです。なお、本年は減葉茎や増葉茎がやや目立ち幼穂の伸長等、圃場内でのバラつきがあることから、各自の圃場状態を確認のうえ、つぎを参考に今後の管理に努めてください。

水稲定点調査圃の生育状況（７月２８日）　※平年値は最高値と最低値を除いた過去10年の平均

品種(平均)	草丈(cm)		茎数(本/㎡)		葉数(葉)		ＳＰＡＤ	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
あきたこまち	**88.8**	80.1	**411**	409	**12.9**	12.5	**42.4**	39.2
（慣　行）	**85.8**		**383**		**12.9**		**42.4**	
（側条ﾍﾟｰｽﾄ等）	**91.0**		**431**		**12.9**		**42.5**	
前年比	**104 %**		**102 %**		**-0.1 葉**		**113 %**	
平年比	111 %		100 %		+0.4 葉		108 %	
たつこもち	**90.9**	77.9	**359**	396	**12.6**	12.7	**46.6**	43.1
きぬのはだ	**84.0**	72.5	**407**	459	**13.5**	13.2	**39.5**	38.0
ときめきもち	**80.2**	70.8	**386**	460	**13.5**	12.7	**39.2**	38.5
サキホコレ	**86.7**	76.9	**414**	460	**12.9**	12.9	**37.7**	33.9

２．出穂・刈取予想日（砂地圃場は３日程度早め）

品　種　名	幼穂長及び葉耳間長（cm）		出穂期予想 本年	出穂期予想 平年	刈取予想日［平年値積算気温］
たつこもち	葉耳間長		７月２８日	７月３０日	９月　１１日
ちほみのり			７月２８日	７月３０日	９月　１１日
あきたこまち		-6～+11	**８月　２日**	**８月　４日**	**９月２０日**
※ ゆめおばこ	幼穂長		８月　５日	８月　８日	９月２８日
ときめきもち		2～7	８月　７日	８月　９日	１０月１日
きぬのはだ		2～10	８月　７日	８月　９日	１０月１日
※ 萌えみのり			８月　７日	８月　９日	１０月１日

※ 「ゆめおばこ」「萌えみのり」は他品種の出穂期予想から推定

３．今後の技術対応

１）倒伏対策　[畦廻りスポット処理可能]

過剰生育等(**葉色濃く、草丈長く、茎数多め**)により倒伏が心配される圃場は、倒伏防止対策として、つぎの薬剤で対応してください。

●ビビフル粉剤DL　出穂5日前まで　[散布量3～4kg/10a]

●ビビフルﾌﾛｱﾌﾞﾙ　出穂2日前まで　[散布量1,000倍　100ﾘｯﾄﾙ/10a]

２）病害虫防除

①葉いもち病

●ブラシン　1成分　[粉剤DL:3kg/10a]、[ﾌﾛｱﾌﾞﾙ:1,000倍で60～150L/10a]
[ゾル:8倍で0.8ℓ/10a(無人ヘリ)]

●ビームエイトゾル　1成分[1,000倍で60～150L/10a]、[8倍で0.8ℓ/10a(無人ヘリ)]

②穂いもち病

●トライフロアブル　1成分[1,000倍で60～150L/10a]、[8倍で0.8ℓ/10a(無人ヘリ)]

③斑点米カメムシ類

7/27に村内のすくい取り調査をした結果、平年より多い発生を確認しております。

発生量が多いため、乳熟期以降も加害が懸念されます。１回目の防除から２週間後に追加防除を行い万全を期してください。

※あきたこまちの散布時期目安（１回目）　出穂期から１０日後頃　：８月１２日
（２回目）１回目散布から２週間後：８月２６日

④ウンカ・ニカメイガ(ニカメイチュウ)

ウンカ：近年**もち品種(たつこもち・きぬのはだ等)**に被害が散見されております。発生が確認された場合は速やかに**全面散布**で防除に努めてください。

●トレボン粉剤DL　1成分[散布量3kg/10a]

ニカメイガ：８月上･中旬頃に幼虫が孵化し稲を食害します。**芯枯株率が5%を超える**か、**成虫の発生が目立つ**場合はつぎの薬剤で防除に努めてください。

●ロムダンゾル(500ml)　1成分　[散布量1,000倍で100L/10a]

⑤紋 枯 病

今後、気温の上昇により発生が懸念されますので、発生状況を確認し、**防除が必要な水準(発生株率が15%)を超える圃場**については、つぎの薬剤を散布し予防に努めてください。

●穂揃期　モンカットファイン粉剤20DL　1成分　[散布量3～4kg/10a]

●「紋枯病･稲こうじ病同時防除」:[3日間湛水状態を保つ]
出穂5日前まで　モンガリット1ｷﾛ粒剤･1成分　[散布量1kg/10a]

※混合剤（殺虫・殺菌剤）　◎散布量　３ｋｇ／１０ａ

薬　剤　名	成分数	病 害 虫 名
ブラシントレバリダ粉剤DL	4	いもち･紋枯･カメムシ･ウンカ･イナゴ

※「ばか苗病」の散見される圃場は、見つけしだい抜取りをよろしくお願いします。
※ 農薬の使用に当たっては使用法を確認し、環境に配慮した施用量等を心がけてください。

「水稲技術情報」https://www.ja-ogata.or.jp/farming2/をホームページで閲覧の際は、これまで必要だったパスワード入力なしで閲覧可能になりました。
※水稲以外の技術情報は、これまで通りパスワードの入力が必要です。